

入院診療計画書② 鼠径ヘルニア根治術(3泊4日)を受けられる方へ

ID: 患者ID

新規作成日: 新規作成日

氏名: 氏名

日付						
経過	1日前	当日(術前)	当日(術後)	1日後	2日後	
目標	消化管の症状・所見がない 手術について理解できる	身体的準備ができています	麻酔から覚醒する 疼痛のコントロールができています			日常生活の注意点について理解できる
注射		手術前から点滴開始 (8時30分出棟のときは手術室で開始)	点滴を継続 抗生物質の点滴をします。	点滴を終了します。		
投薬	持参のお薬を薬剤師が確認します。	麻酔科医師が指定した必要な薬だけ服用 します。吸引薬等も使用するか確認して ください。		持参のお薬を再開します。 痛み止めを内服できます。		
検査						
放射線			X線ポータブル撮影 胸部・腹部			
処置	●身長測定 ●体重測定		●心電図のモニターをつけます。 ●酸素を吸入をします。 ●血栓予防のため足に器械を巻きます。 ●創部(そうぶ)を観察します。 ●尿量を測定します。		創部に防水性の絆創膏を貼ります。	回診時創部の観察をします。
食事	●夕食の後から絶食です。 ●飲水は指定された時間まで可能です。	朝6時から絶飲食です。	●食事を再開します。 ●安静のためベッド上での食事となりま す。	米飯 (検温時に摂取量を確認します)	●食事に制限はありません。 ●便秘を良くする食事を摂取し、水分を 多めに取るようにしましょう。	
清潔	手術に備えシャワーに入ってくださいま す。	手術前に洗面、歯磨きを済ませてくださ い。	洗面は看護師がお手伝いします。	安静解除後、身体拭きをお手伝いしま す。	シャワー浴ができます。 次回外来日までは入浴は控えてくださ い。	
排泄			尿道に管が入ります。尿はバッグに流れ ます。	膀胱に管が入っている場合は抜きます。		
安静度	活動の制限はありません。		術後はベッド上安静となります。	痛み止めを使いながら看護師と少しずつ 身体を動かしていきます。	活動の制限はありません。	
リハビリ	リハビリテーションの予定はありません。					
看護ケア	検温 入院時、就眠前	手術室に行く前に検温をします。	検温 手術直後から夜まで数回検温します。	検温 午前、午後	検温 起床時	
	●手術に必要な物品の説明をします。 ●入院生活や手術についてのオリエン テーションがあります。 ●パンフレットで手術前後の流れについ て説明します。		●安全のために、ベッド柵を両側に設置 します。 ●創部の痛みが強いときは痛み止めを使 用して痛みを和らげます。		●退院の書類をお渡し説明します。 ●生活動作はできるだけ腹圧をかけないよ うに注意してください。 ●術後1ヶ月間は、排便時に力まないよう にしてください。	
指導など	●手術説明の日時は入院後病棟にてお知ら せします。説明の際はご家族の同席をお願 いします。 ●同意書に署名をして看護師まで提出して ください。 ●麻酔科医と手術室の看護師の訪問があり ます。	●貴重品は、セーフティーボックスまたはご 家族が管理してください。 ●義歯・コンタクトレンズ・貴金属は手術室 へ行く前に外してください。	手術後の出血、ヘルニアの再脱出を予防す るため、ベッド上安静を守ってください。 横向きになる程度は可能です。	●点滴や管がありますので、一人での活動は 看護師に確認してから行うようにご協力く ださい。 ●退院後についての注意点、食事・清潔・排 便についてパンフレットで説明します。	●便秘にならないよう注意してください(下 剤を処方することもあります)。 ●手術後1ヶ月間は重労働を避けてくださ い。 ●お仕事のある方は医師と相談してから始め ましょう。	